

都道府県名：山形県

氏名：渡會 俊正

地域

渡會氏がご活躍されている山形県庄内南部地域は、全国有数の稲作地帯である庄内平野の中部から南部に位置し、鶴岡市と庄内町、三川町の3市町で構成されています。赤川水系の赤川、大山川、最上川水系の京田川、藤島川、立谷沢川等の河川が貫流し、西側は日本海に面しています。

氏在住の鶴岡市は、人口約14万人の市で、県内人口第2位、東北地方の市町村の中で最も面積が広い、城下町を中心とした都市です。

略歴

昭和50年 4月～平成23年4月 鶴岡中央工業団地管理組合理事長

(注：平成23年4月以降は同管理組合監事)

昭和56年 ～平成 2年 山形県酒造組合連合会副会長

昭和56年11月～平成23年6月 庄内南部地域地下水利用対策協議会会長

(注：平成23年6月以降は同協議会監事)

功績内容

- ・ 庄内南部地域地下水利用対策協議会会長として30年間務め、山形県庄内南部地域の地域住民や企業等へ地下水の適正利用に関する啓発、会員の研修会等の学習活動を牽引してこられた。
- ・ 工業用に地下水を利用している鶴岡中央工業団地の管理組合理事長として、地下水保全の重要性を市民に知ってもらうとともに、地域貢献の一環として、市中心部に位置する城址である鶴岡公園内の老朽化した地下水位観測施設の改築等に取り組まれた。



地下水利用対策協議会の状況



地下水位観測小屋(改築後)



会員への研修状況



湧水を用いた共同洗場の視察研修状況